

70歳以上の高額療養費の 自己負担限度額が変わります

8月から市民税課税世帯の自己負担限度額が変わります。
なお、市民税非課税世帯および70歳未満の自己負担限度額は変わりません。お問い合わせください。

区 分 (所得要件)		自己負担限度額	
		変更前	変更後
現役並み所得者 (市民税課税所得 145万円以上)	外来	44,400円	57,600円
一 般 (市民税課税所得 145万円未満)	外来	12,000円	14,000円 (年間144,000円上限)
	外来 + 入院	44,400円	57,600円 (44,400円)※

※ひとつの世帯で、過去12カ月間に4月以上、世帯の限度額に達するときの4回目からの限度額。

介護保険サービス ご利用について

介護保険サービスを利用するためには、まず要介護(要支援)認定の申請を行い、認定を受ける必要があります。認定申請は、ご本人またはご家族が市役所で行うか、もしくは地域包括支援センター等による代行申請が行えます。



「地域包括支援センター」とは？

地域で暮らす高齢者の皆さんが健やかに住み慣れた地域で過ごせるよう、介護・福祉・保険・医療などさまざまな面から支援する高齢者の総合相談窓口です。

センターの職員はケアマネジャー・社会福祉士・保健師の3職種で構成されています。



編集後記

毎年「今年の夏は猛暑」と言われますが、今年は例年にまして厳しい暑さだったように思います。熱中症による救急搬送者数も昨年より上回っており、体調を崩された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。この暑さの中、7月5日の九州北部豪雨で被害に遭われ避難生活を続けられている皆様に心よりお見舞い申し上げます。
(小野)



消防訓練のご報告

平成29年7月26日、今年も院内消防訓練を実施しました。5階喫煙室よりの出火を想定し、消防への通報・患者様の避難誘導・職員の消火訓練や簡易担架の使用訓練を行いました。毎年、予期せぬ災害に備え焦らず迅速な対応が行えるよう訓練に臨んでいます。



「8月4日」は栄養の日

8月1日～7日は栄養週間、8月4日は栄養の日です。『8(エイト) + 4(よん) = えいよう』となることから決められた記念日は今年新しく日本栄養士会より制定されました。現代の多様化する食・栄養課題に対して正しい情報の発信、国民の健康・福祉の向上を図り社会活動の充実、健全な心身を育み一人ひとりが自己実現を叶える元気な未来の日本をつくることを目的とされています。

★所在地

TEL (097)568-7991 FAX (097)568-7992
〒870-1133 大分市大字宮崎6番地の3

★診療科目

精神科・心療内科・内科

★受付・診療時間

初診の受付時間(月～土)

午前 8:00～11:00
午後 12:00～16:00

診療時間(月～土)

午前 9:00～12:00
午後 13:00～17:00

再診の受付時間(月～土)

※原則として

午前 8:00～11:30
午後 12:00～16:30

※日曜・祝日は休診します。

※土曜の内科の診察は行っておりません。
※御来院の際は、保険証をお持ち下さい。

★病棟名称・入院病床数

ストレスケア病棟(新設)、一般治療病棟、社会復帰病棟、療養治療病棟、認知症治療病棟

入院病床数：234床

★交通アクセス

■JR利用

大分駅からタクシーで約10分(約6km)

■バス利用

JR大分駅前より数戸・星和台行き大分バスで約20分・光吉入口バス停で下車・徒歩約3分

■大分自動車道利用

光吉インターより、ホワイトロード・宮崎交差点を右折(約100m)



リバーサイド病院広報紙
リバーニュース
医療法人 青樹会

平成29年9月発行
VOL. 32



開院40周年ごあいさつ

当リバーサイド病院は平成29年9月をもちまして創立40周年を迎えることとなりました。

昭和52年の開院以来、精神科医療ならびに高齢者医療へ取り組み、現在に至ることができたことは、ひとえに皆さまのご理解、ご助力の賜物であると深く感謝しております。

今後も患者様のより良い生活のため、地域医療の場において未長く質の高い医療サービスをご提供できるよう、職員一同より一層の努力を続けていく所存です。

皆様方におかれましては今後ともご支援、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

理事長 荒木 康夫

院長 佐々木一郎

院内行事報告

運動会



平成29年5月19日に毎年恒例の運動会が行われました。患者様・職員共に紅白に分かれ、徒競走・パン食い競争・運命競争等の競技があり大変な盛り上がりを見せました。

供養祭・盆踊り会

平成29年8月18日午前中に供養祭が行われ、夕刻より当院グラウンドにて盆踊り会が開かれました。

色とりどりの浴衣に身を纏い患者様や職員が鶴崎踊りや別府音頭などを踊りました。かき氷や職員の上げる花火などを楽しんでいただけようでした。



デイケアだより

ステーキガスト食卓会

平成29年6月23日、ステーキガストに行きました。3ヶ月に一度の食卓会で、出発前から笑顔が溢れ待ち遠しい雰囲気でした。選択メニューの中で、一番人気は『ハンバーグ&から揚げ』でした。なんといってもサラダ・デザート等の食べ放題が魅力的で何度もお代わりしているメンバーさんの姿も見られました。食べながらの会話は生き生きとして、メンバーさんも「美味しかったわー」と満足されたようでした。



院内勉強会のご報告

平成29年5月9日に大塚製薬株式会社より職員を対象に新バーチャル・セデーションとエビリファイ持続性水懸筋注の勉強会を開催していただきました。新バーチャル・セデーションとは、抗精神病薬の服用によって起こる過剰な鎮静がどのようなものなのか体験する機器です。[いつもの散歩道]「家の中」「薬局」の3つの場面の映像にゆがみの負担をかけ、視覚的に仮定の鎮静状態を体験しました。体験した職員の中には、腰かけていたイスからすぐに立ち上がれない職員や「めまいのように視界がぐるぐるしている」と過剰な鎮静による影響を体験した感想が聞かれ、大変貴重な勉強会となりました。



平成29年5月9日に大塚製薬株式会社より職員を対象に新バーチャル・セデーションとエビリファイ持続性水懸筋注の勉強会を開催していただきました。新バーチャル・セデーションとは、抗精神病薬の服用によって起こる過剰な鎮静がどのようなものなのか体験する機器です。[いつもの散歩道]「家の中」「薬局」の3つの場面の映像にゆがみの負担をかけ、視覚的に仮定の鎮静状態を体験しました。体験した職員の中には、腰かけていたイスからすぐに立ち上がれない職員や「めまいのように視界がぐるぐるしている」と過剰な鎮静による影響を体験した感想が聞かれ、大変貴重な勉強会となりました。



高齢化と向き合うⅢ ～熱中症を防ぐ～

もともと体液が減少し、水分や塩分の摂取に重要な食事量も低下しがちな高齢者は、発汗による体温調整機能が十分でなく脱水を起こしやすい状態です。脱水症の症状が出る前の「かくれ脱水」の段階に早く気づき対策をとることが大切です。

★目安は「べた」「だる」「ふら」「いた」

『べた』… 首筋などがべたべたしてくる。
『だる』… 元気がなく見える。
『ふら』… めまいや立ちくらみ・少しふらふらしているように見える。(熱中症Ⅰ度の状態が進んでいます)
『いた』… 足がつる、頭痛が現れている状態。こむら返り・顔が熱っぽい状態。(熱中症Ⅱ度の症状に近くなっています)

※高齢者では汗をあまりかかない人も多く厚着になります。そのような方の首筋は、しっかりとしていることがあります。また、そのような方の手の甲をつまみ、つまんだ形のまま元にもどらない時はすぐに経口補水液を飲む必要があります。その他には排尿の回数の減少・尿の色が濃い場合も補水が必要となります。

病棟行事「そうめん流し」

平成29年6月～7月にかけて、年に一度の風物行事「そうめん流し」を行いました。患者様・職員共に楽しい一時を過ごす事ができました。今回は、各病棟の様子を一部ご紹介いたします。

1病棟



天気にも恵まれ、病棟のウッドデッキで行いました。患者様よりも多くの笑顔がみられました。今年はそうめん、そばの2種類の食杯でした。

2病棟



病棟内で行いましたが、季節感を味わっていただけたようで、美味しくそうに食べていました。

3病棟



今年もうどん麺と素麺を流しました。いつもは参加されない患者様も早くから並んで美味しくそうに食べていました。

5病棟



毎年のお楽しみ行事となっている患者様も多く、今年も美味しくそうに食べていました。

6病棟



準備中、いまかいまかと首を長くして待つ患者様。いざ始まると一斉にそうめんをすくい始め「おいしい」と笑顔がみられました。

ストレス対処法

その26

前回からの続きで、認知の偏りの代表的なものを挙げていきます。



- ④ **拡大視・縮小視**：自分の関心のある部分は大きく捉え、反対に自分の考えや予測に合わない部分はことさらに小さくみる傾向です。例えば、気持ちが落ち込んでいるときは、失敗したことばかり気になり成功したことはすぐに忘れてしまいます。この思考パターンに対しては、成功したこと、上手く対処できたことを意識的に思い出してもらうようにします。
- ⑤ **極端な一般化**：ごくわずかな事実を取り上げて、何事も同様に決めつけてしまう状態です。例えば、一度でも失敗すると何をやってもダメだと決めつけてしまいます。また手紙の返事が一度来なかっただけで、相手が自分のことを嫌っていると結論付けます。この思考パターンに対しては、判断の基準を書き出してもらうなどします。

- ⑥ **自己関連づけ**：よくないことが起きると、自分が悪いのだと何でも自分を責めてしまうような態度です。例えば、みんなで取り組んできたプロジェクトが失敗した時、すぐに「私の責任だ」「自分が悪かったのだ」と考えて、自分ばかりを責めるようになります。この思考パターンに対しては、誰にどのような責任があるのかを、具体的に書き出してもらいます。
- ⑦ **情緒的な理由付け**：ある状況における自分自身の感情の状態から現実を判断するような態度です。例えば、与えられた仕事の内容がよくわからないうちから不安になった場合、「こんなに不安になっているのだから今度の仕事は難しいに違いない」と思い込むようになります。この思考パターンに対しては、もう一度現実をよく見るようにして、再度客観的に評価をしてもらうようにします。(玉那覇 邦)

OTだより

現在、当院では趣味的活動やスポーツ・料理活動、農作業など様々な活動を患者様に提供しています。さらにプログラムの充実を図る為に、今年の8月よりOTプログラムを増やしました。既存のプログラムに加え、脳の活性化や身体機能の維持向上を目的としたダンス教室やうつ病患者様対象の行動活性化を用いた認知行動療法。また高齢者対象の身体機能リハビリテーションや当院独自の回想法などのプログラムを新たに加えました。プログラム変更にともない、患者様も興味を持って活動に取り組み、「この活動は私にぴったりのプログラムです」などの感想も聞かれています。



部署紹介

【薬剤部】

薬剤部は薬剤師3名(男性2・女性1)の構成です。昨年 風間(男性)、門川(女性)両先生が加わり、新生薬剤部になりました。薬剤部の改革として、これからは若い人の意見を多く取り入れ、みんなで何でも話し合える働きやすい職場環境作りをモットーに、他部署との連携を深めて頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



永年勤続者・定年退職者 紹介



乙部 吉勝 (薬剤師)
永年勤続の表彰式に出席させていただき、ありがとうございます。あつという間の10年間で、これからも頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



田代 孝子 (看護師)
今まで周囲の人に支えられて無事に仕事を続けられた事に感謝します。ありがとうございます。



河原 早苗 (介護士)
リバーサイド病院に勤務するようになって15年6ヶ月です。定年と永年勤続表彰を頂き感謝しています。あつという間に過ぎた様に思います。これからも頑張りますので、よろしくお願いします。



山中 美智代 (看護師)
皆様のおかげでここまで来れました。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。



後藤 佐代美 (看護師)
永年勤続表彰を頂き有難うございます。ここまで勤務を続けてくれたのも皆様のおかげだと感謝しています。これからも頑張ります。今後とも指導よろしくお願いします。



小野 恵美 (介護士)
永年勤続の表彰式に出席させていただき、ありがとうございます。これからも頑張りますので、よろしくお願いします。



竹中 裕子 (看護師)
皆様のおかげで無事に定年を迎える事ができました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



後藤 秀子 (看護師)
50代半ばからの再就職で初めての精神科と言うこともあり不安を抱えての入職でしたが、各部署の諸先輩方のご指導の下無事に今日を迎える事が出来、大変感謝しています。今後共変わらず宜しくお願いします。



藤澤 美津子 (調理師)
表彰式に出席させて頂き、ありがとうございます。これからも日々向上心を持ち、頑張ります。